

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
投資有価証券・・・取得原価による個別原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 会計方針の変更

平成 25 年度より「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
特定資産				
退職給付引当資産	27,817,725	2,130,000	11,336,480	18,611,245
修繕等積立資産	5,000,000	5,000,000		10,000,000
減価償却引当資産	2,282,428			2,282,428
合 計	35,100,153	7,130,000	11,336,480	30,893,673

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	18,611,245			18,611,245
修繕等積立資産	10,000,000		10,000,000	
減価償却引当資産	2,282,428		2,282,428	
合 計	30,893,673	-	12,282,428	18,611,245

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建物	156,249,151	129,860,308	26,388,843
構築物	9,215,000	6,311,747	2,903,253
車両運搬具	5,719,800	4,548,475	1,171,325
什器備品	7,480,792	4,746,612	2,734,180
土地	282,962,600	-	282,962,600
投資有価証券		-	661,620,000
合 計	461,627,343	145,467,142	977,780,201

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の 記 載 区 分
補助金						
受取地方補助金	徳島県	0	104,602,000	104,602,000	0	-
受取民間補助金	全ト協	0	9,007,000	9,007,000	0	-
合 計		0	113,609,000	113,609,000	0	